

## 第5次あきる野男女共同参画プランの進捗状況の評価方法について

### 資料 2

<b>NO 35</b>	ひとり親家庭ホームヘルプサービスの充実			
<b>事業名</b>	ひとり親家庭の親が職業能力開発センターに通学するなど、自立を促進するために必要な事由等により、一時的に支援が必要な家庭にホームヘルパーを派遣する。			
	事業内容	担当課: 子ども家庭支援センター		
	令和4年度	令和5年度 実施予定内容	(担当評価) 事業実施に係る評価	(市民会議評価) 男女共同参画の 視点からの評価
	事業実績	課題		
	目標に対する実績 目標: R7.3.31までに3件 (延べ200日) 実績:			
	変更点①			
	実績内容			
	注意事項①	注意事項②	注意事項③	変更点②    変更点③

- ※ 変更点  
第4次プラン進捗状況報告書における評価票から変更又は追加して記載する項目
- ※ 注意事項  
第4次プラン進捗状況報告書における評価票から継続して記載する項目

<b>変更点</b>	①	第5次男女共同参画プランにおいて数字目標を定めた事業(事業23、26、35、36、37、46、49)については、調査年度時点での実績値を記入する。
	②	以下の評価基準を参考に <b>担当課</b> において評価を行う。 <b>【事業実施に係る評価基準】</b> S: 事業を実施し、目標以上の成果が得られた。 (計画期間中に目標以上の成果が得られる見込みである。) A: 事業を実施し、目標を達成できた。 (計画期間中に目標を達成できる見込みである。) B: 事業を実施したが、目標は達成できておらず、改善が必要である。 (現在のままでは、計画期間中に目標を達成できる見込みがなく、改善が必要である。) C: 事業を実施したが、目標達成には至らなかった。 (計画期間中に目標を達成できない。) D: 事業を実施していない。 F: 事業が終了(完了)した。
	③	以下の評価基準を参考に <b>男女共同参画推進市民会議</b> において評価を行う。 <b>【男女共同参画の視点からの評価基準】</b> A: このまま事業を実施してほしい。 B: 事業方法の改善が必要である。 C: 事業の抜本的な見直しが必要である。 F: 評価ができない。 (事業が未実施、事業が終了(完了))
<b>注意事項</b>	①	実施した事業内容を記入する。 第5次プランに数字として目標を設定していない場合においても、事業に関係するもので数字が出せるもの(チラシ等の発行部数、講座の開催日数、相談人数など)については、記入する。
	②	事業が実施できなかった場合、実施できなかった理由を記入する。 設定した目標に対し、実績が不十分な場合は、その理由を記入する。
	③	課題を踏まえ、今年度の実施内容を記入する。